

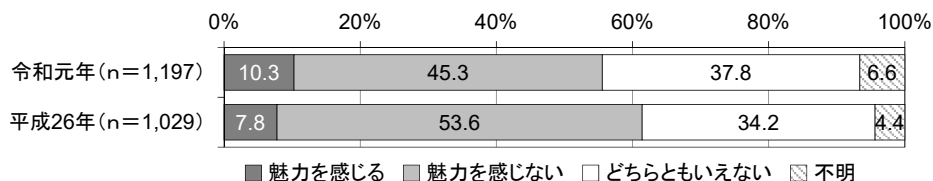
12. 働く環境としての魅力

問 12 働く環境として、南魚沼市に魅力を感じますか。(1つだけ選択)

- 「魅力を感じない」が4割以上、「魅力を感じる」が1割以上
- 「魅力を感じない」は前回より若干低下

「魅力を感じない」(45.3%)が4割以上で最も高く、次いで「どちらともいえない」(37.8%)が約4割、「魅力を感じる」(10.3%)が1割以上となっています。

前回と比較すると、大きな差は見られませんが、「魅力を感じない」(前回53.6%)が約10ポイント低くなる一方、「魅力を感じる」「どちらともいえない」(それぞれ前回7.8%、34.2%)が若干高くなっています。

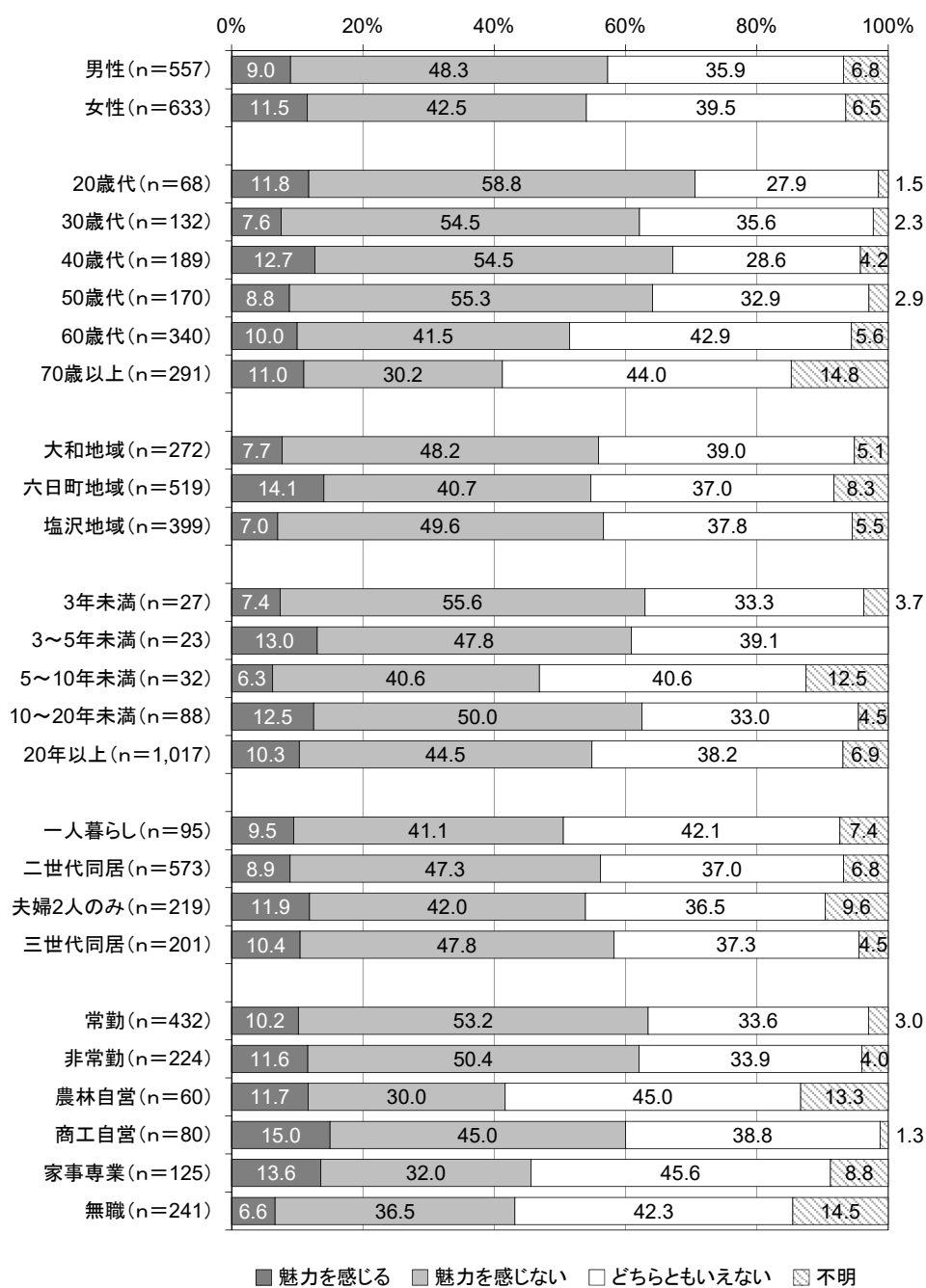


働く環境として南魚沼市に魅力を感じるか (1つだけ選択)

- 多くの属性で「魅力を感じない」が最も高い
- 70歳以上、居住年数5~10年、一人暮らし、農林自営、家事専業、無職は「どちらともいえない」が最も高い

属性別に見ると、70歳以上、一人暮らし、農林自営、家事専業、無職を除きいずれの属性も「魅力を感じない」が最も高くなっています(居住年数5~10年は「どちらともいえない」(40.6%)と同値)。70歳以上、一人暮らし、農林自営、家事専業、無職はいずれも「どちらともいえない」が最も高くなっています。

「魅力を感じる」を見ると、属性による大きな差は見られません。



働く環境として南魚沼市に魅力を感じるか (属性別)

問 12-1 「魅力を感じる」理由（1つだけ選択）

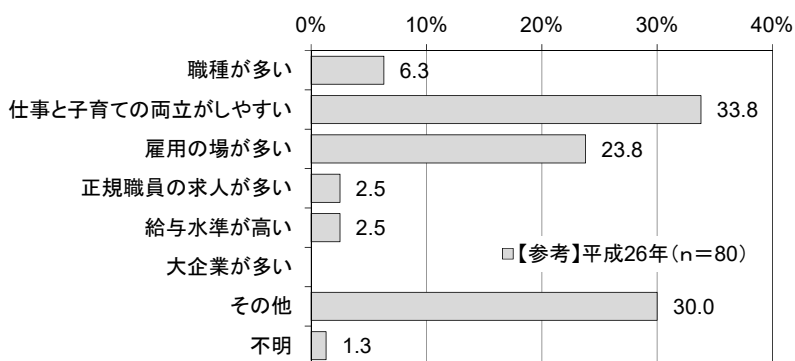
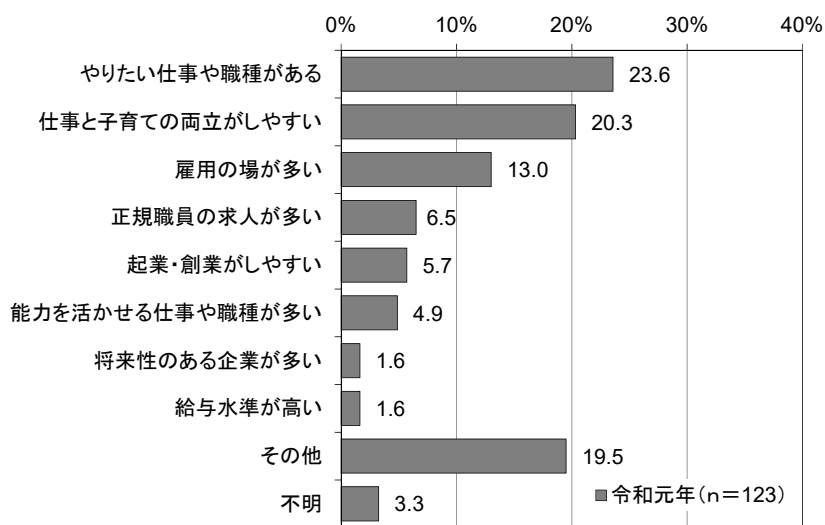
- 「やりたい仕事や職種がある」「仕事と子育ての両立がしやすい」がそれぞれ 2 割以上、次いで「雇用の場が多い」が 1 割以上

先の間 12 で「魅力を感じる」と回答した 123 人にその理由を質問した結果、「やりたい仕事や職種がある」(23.6%)、「仕事と子育ての両立がしやすい」(20.3%) の 2 項目が 2 割以上で同程度に高く、次いで「雇用の場が多い」(13.0%) が 1 割以上となっています。

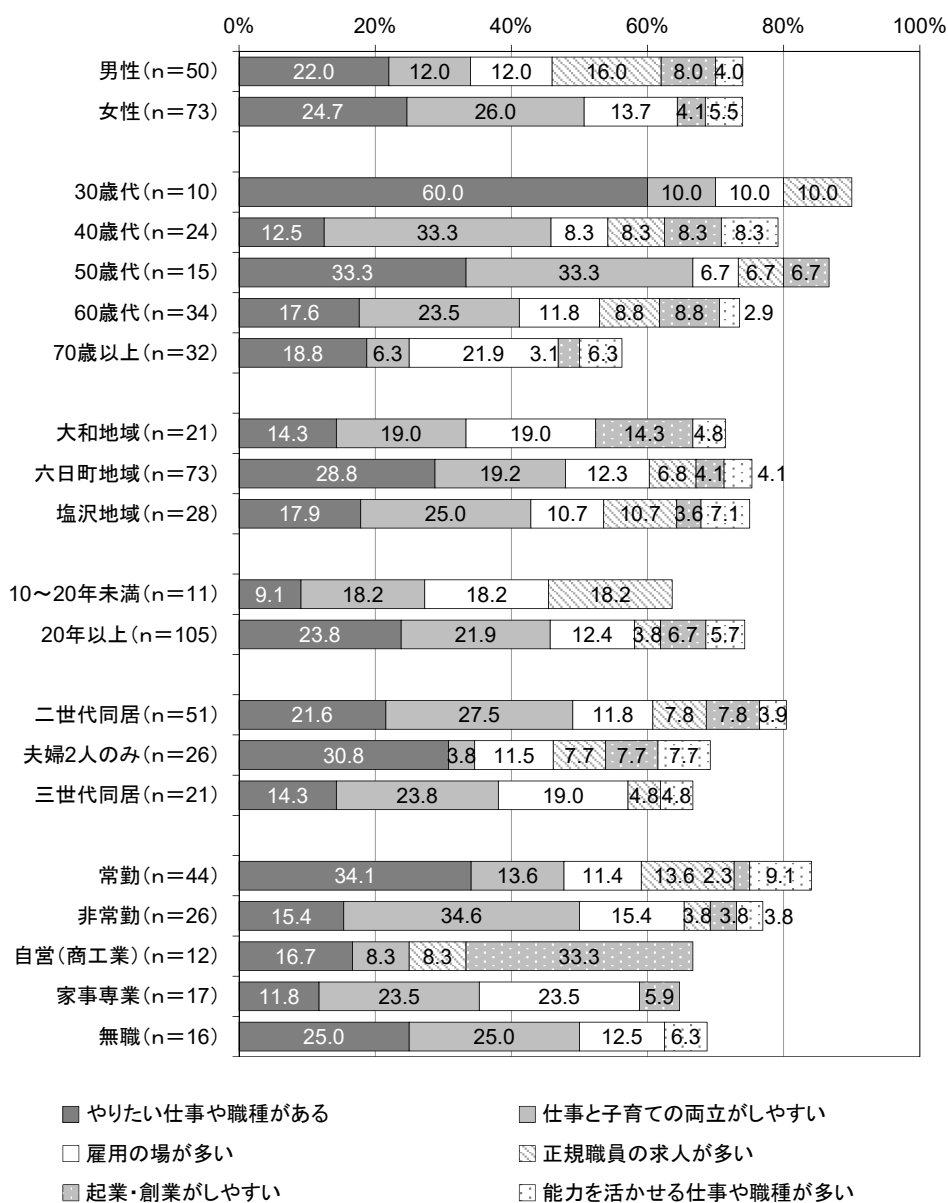
「その他」の具体的内容として、自然環境（4 件）、人間関係（4 件）などに関する記述が複数見られました。

前回とは項目が異なるため、参考として見てみると、「仕事と子育ての両立がしやすい」(前回 33.8%)、「雇用の場が多い」(前回 23.8%) が低くなっています。

属性別については、各属性のサンプル数が少ないため、参考値として表示し、分析は行いません。



働く環境として南魚沼市に魅力を感じる理由（1つだけ選択）（参考：経年比較）



※全体傾向における上位6項目のみ表示

【参考】働く環境として南魚沼市に魅力を感じる理由（属性別）

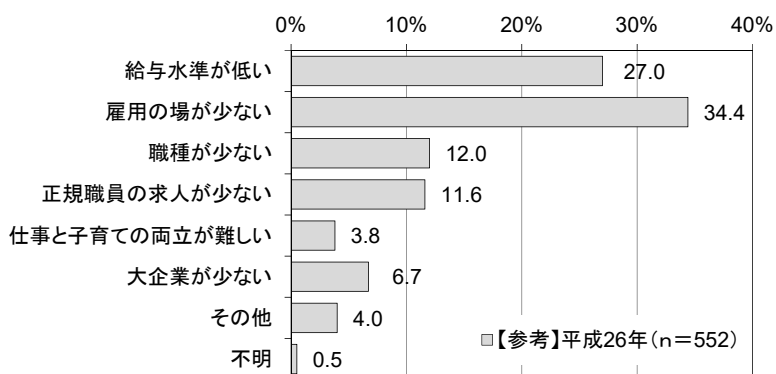
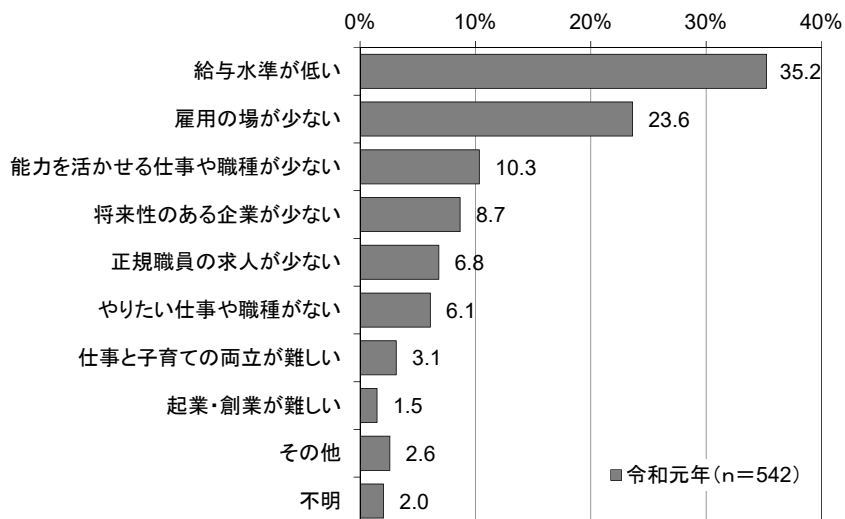
問 12-2 「魅力を感じない」理由（1つだけ選択）

- 「給与水準が低い」が3割以上、次いで「雇用の場が少ない」が2割以上
- 前回と比較して「雇用の場」より「給与水準」に重点を置く傾向

先の間 12 で「魅力を感じない」と回答した 542 人にその理由を質問した結果、「給与水準が低い」（35.2%）が3割以上で最も高く、次いで「雇用の場が少ない」（23.6%）が2割以上となっています。

「その他」の具体的内容として、買い物や交通などの暮らしにくさ（4件）、すべての項目が当てはまる・理由が多すぎる（2件）などに関する記述が複数見られました。

前回とは項目が異なるため、参考として見てみると、「給与水準が低い」（前回 27.0%）が高くなる一方、「雇用の場が少ない」（前回 34.4%）が低くなっています。

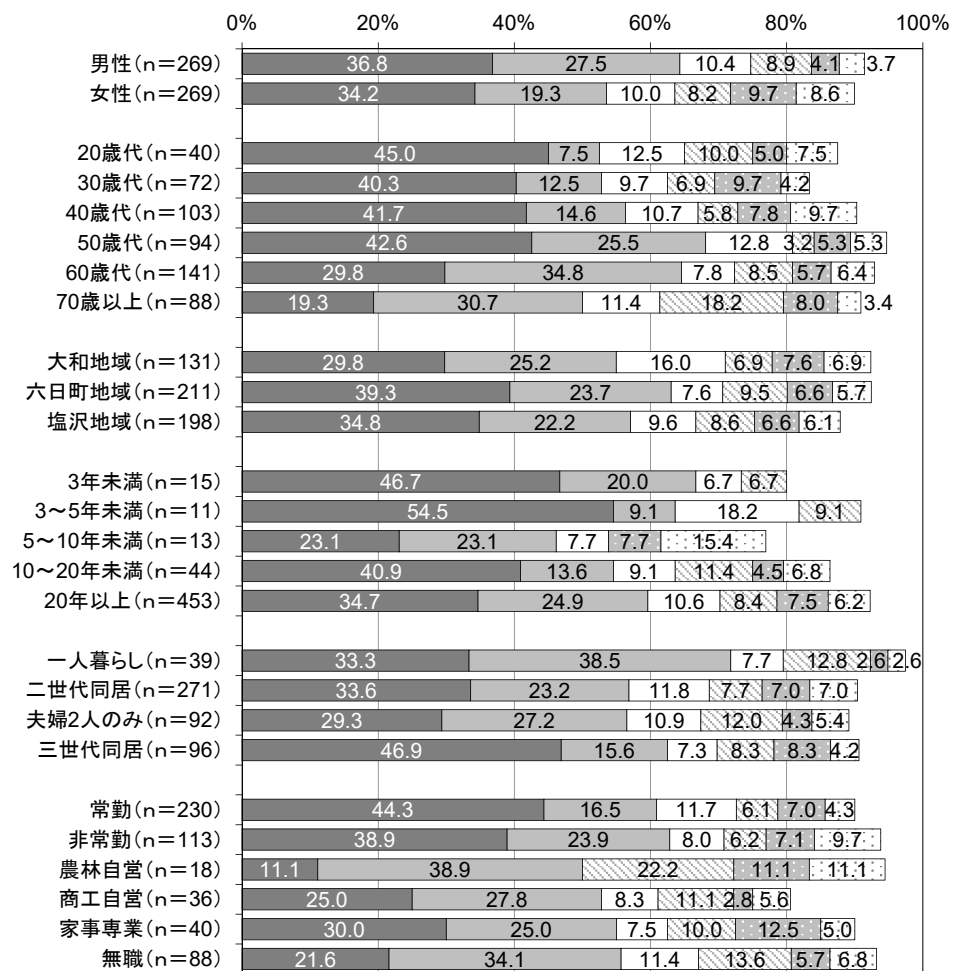


働く環境として南魚沼市に魅力を感じない理由（1つだけ選択）（参考：経年比較）

- 多くの属性で「給与水準が低い」が最も高い
- 60歳以上など、属性によっては「雇用の場が少ない」が最も高い

属性別に見ると、60歳代以上、居住年数5～10年未満、一人暮らし、農林自営、商工自営、無職を除きいずれの属性も「給与水準が低い」が最も高くなっています（居住年数5～10年未満は「雇用の場が少ない」（23.1%）と同値）。60歳代以上、5～10年未満、一人暮らし、農林自営、商工自営、無職はいずれも「雇用の場が少ない」が最も高くなっています。その中でも居住年数3～5年未満は「給与水準が低い」（54.5%）が5割以上、一人暮らしや農林自営は「雇用の場が少ない」（それぞれ38.5%、38.9%）が約4割で比較的高くなっています。

また、居住年数3年未満、5～10年は「仕事と子育ての両立が難しい」（それぞれ13.3%、15.4%）が比較的高くなっています（グラフ非表示）。



- 給与水準が低い
- 雇用の場が少ない
- 能力を活かせる仕事や職種が少ない
- ▨ 将来性のある企業が少ない
- 正規職員の求人が少ない
- ▨ やりたい仕事や職種がない

※全体傾向における上位6項目のみ表示

働く環境として南魚沼市に魅力を感じない理由（属性別）

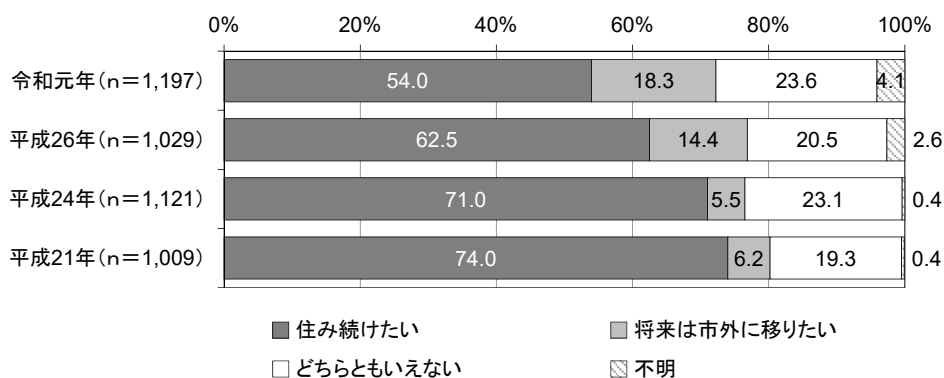
13. 定住意識

問 13 南魚沼市に住み続けたいと思いますか。(1つだけ選択)

- 「住み続けたい」が5割以上、「将来は市外に移りたい」が約2割
- 「住み続けたい」が低くなり、「将来は市外に移りたい」が高くなる傾向

「住み続けたい」(54.0%)が5割以上で最も高く、次いで「どちらともいえない」(23.6%)が2割以上、「将来は市外に移りたい」(18.3%)が約2割となっています。

過去3回の調査とは表現の異なる項目があることを考慮する必要がありますが、「住み続けたい」が低くなる一方、「将来は市外に移りたい」が高くなる傾向がうかがえます。

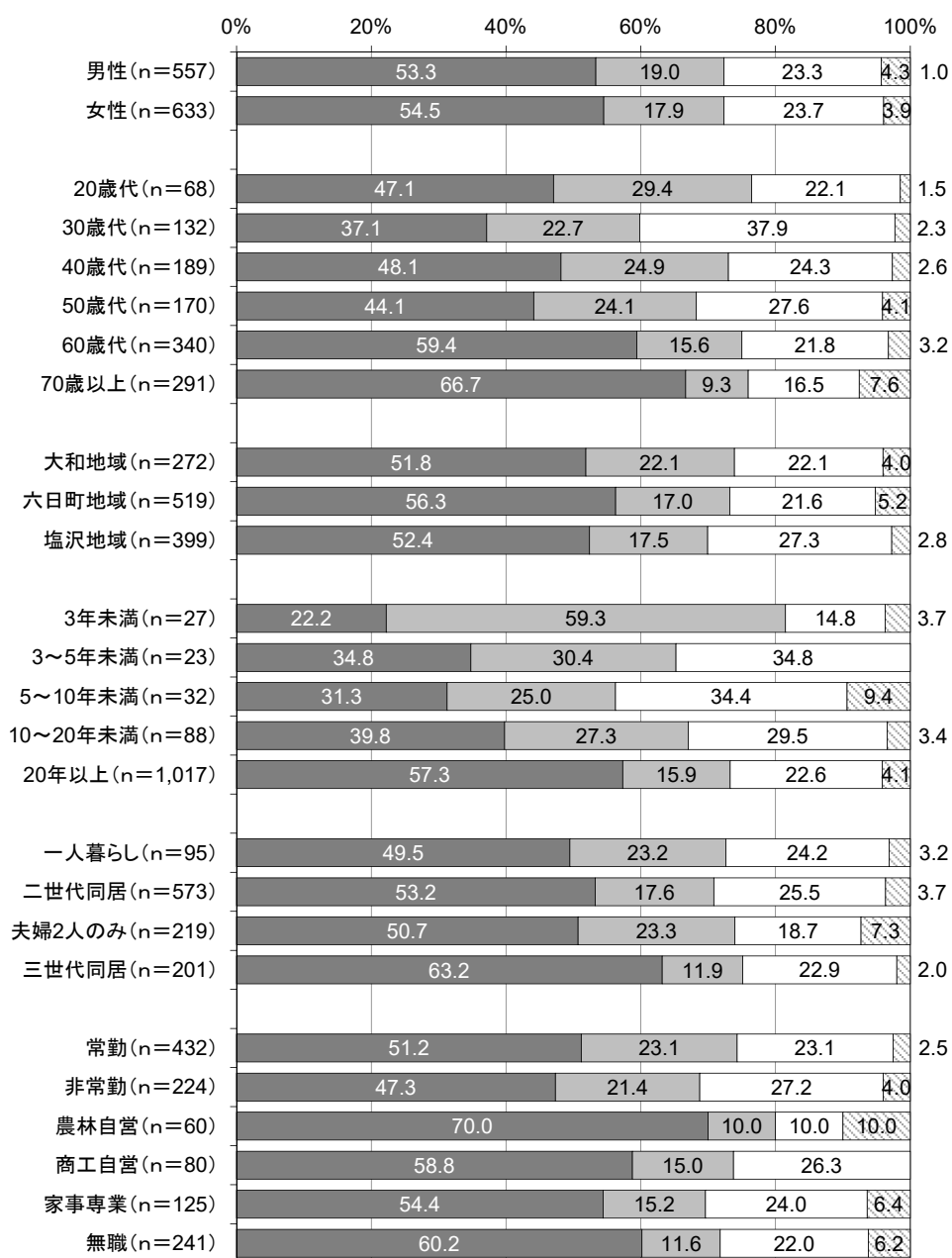


※ 「将来は市外に移りたい」は平成26年までは「南魚沼市外に移りたい」として設定

南魚沼市に住み続けたいと思うか (1つだけ選択) (経年比較)

- ほとんどの属性で「住み続けたい」が最も高い
- 「将来は市外に移りたい」は居住年数3年未満が約6割で特に高く、居住年数が短いほど高い傾向

属性別に見ると、30歳代、居住年数3年未満、5～10年未満を除きいずれの属性も「住み続けたい」が最も高く、特に農林自営(70.0%)は7割以上となっています(居住年数3～5年は「どちらともいえない」(34.8%)と同値)。30歳代、居住年数5～10年未満は「どちらともいえない」(それぞれ37.9%、34.4%)、居住年数3年未満は「将来は市外に移りたい」(59.3%)が最も高くなっています。「将来は市外に移りたい」は居住年数3年未満が約6割で特に高く、概ね居住年数が短いほど高い傾向がうかがえます。



■ 住み続けたい □ 将来は市外に移りたい □ どちらともいえない ▨ 不明

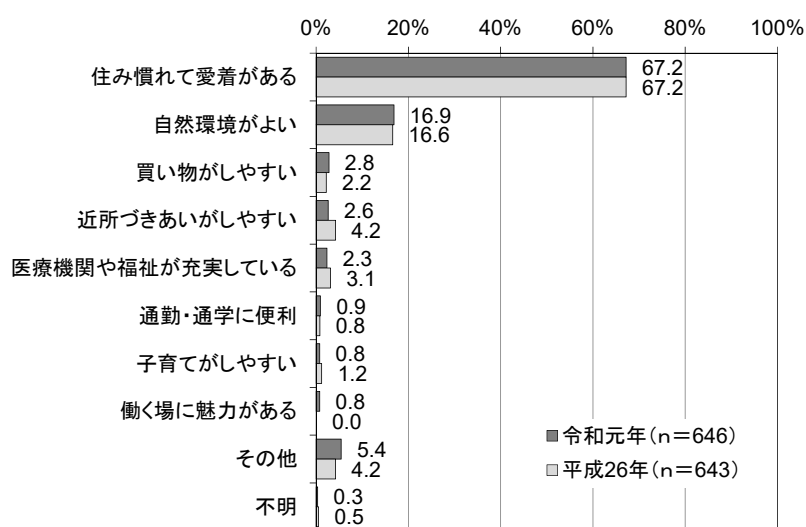
南魚沼市に住み続けたいと思うか (属性別)

問 13-1 「住み続けたい」理由（1つだけ選択）

- 「住み慣れて愛着がある」が約7割、次いで「自然環境がよい」が約2割
- 前回と同様の傾向

先の間 13 で「住み続けたい」と回答した 646 人にその理由を質問した結果、「住み慣れて愛着がある」（67.2%）が約7割で特に高く、次いで「自然環境がよい」（16.9%）が約2割となっています。

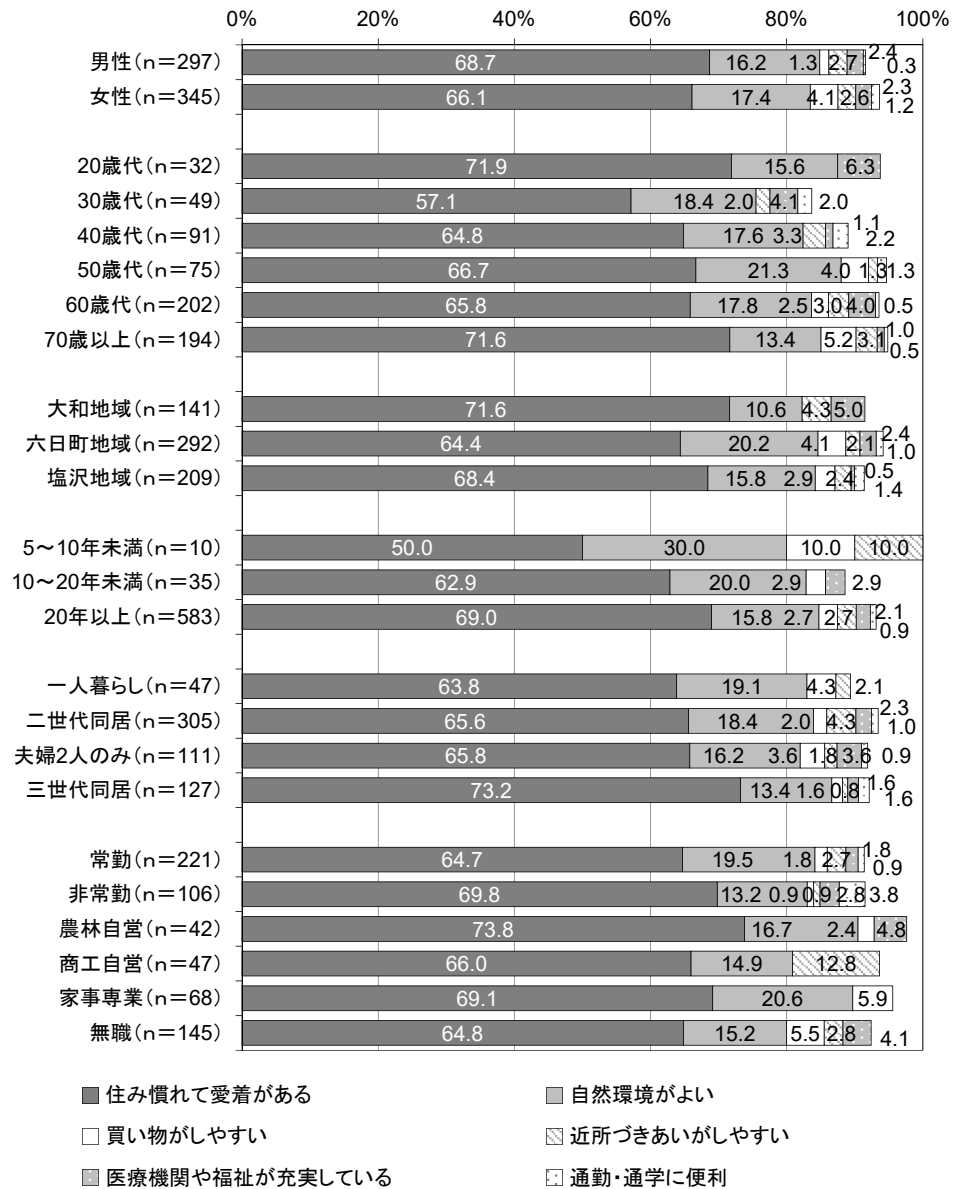
前回と比較すると、同様の傾向となっており、大きな変化は見られません。



「住み続けたい」理由（1つだけ選択）（経年比較）

● すべての属性で「住み慣れて愛着がある」が最も高く、居住年数が長いほど高い傾向

属性別に見ると、すべての属性で「住み慣れて愛着がある」が最も高く、次いで「自然環境がよい」が高くなっています。その中で「住み慣れて愛着がある」は居住年数が長いほど高い傾向がうかがえます。



※全体傾向における上位6項目のみ表示
 ※n=10未満の属性を除く

「住み続けたい」理由（属性別）

問 13-2 「南魚沼市外に移りたい」理由（1つだけ選択）

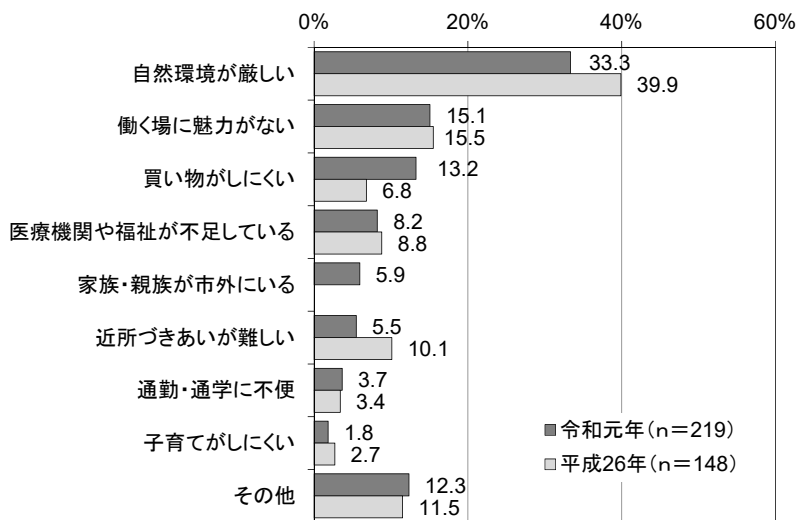
- 「自然環境が厳しい」が3割以上、次いで「働く場に魅力がない」「買い物がしにくい」が1割以上
- 前回から大きな変化は見られない

先の間 13 で「南魚沼市外に移りたい」と回答した 219 人にその理由を質問した結果、「自然環境が厳しい」（33.3%）が3割以上で最も高く、次いで「働く場に魅力がない」（15.1%）、「買い物がしにくい」（13.2%）の2項目がそれぞれ1割以上となっています。

「その他」（12.3%）の具体的内容として、道路・交通（5件）、雪・除雪（4件）などに関する記述が複数見られました。

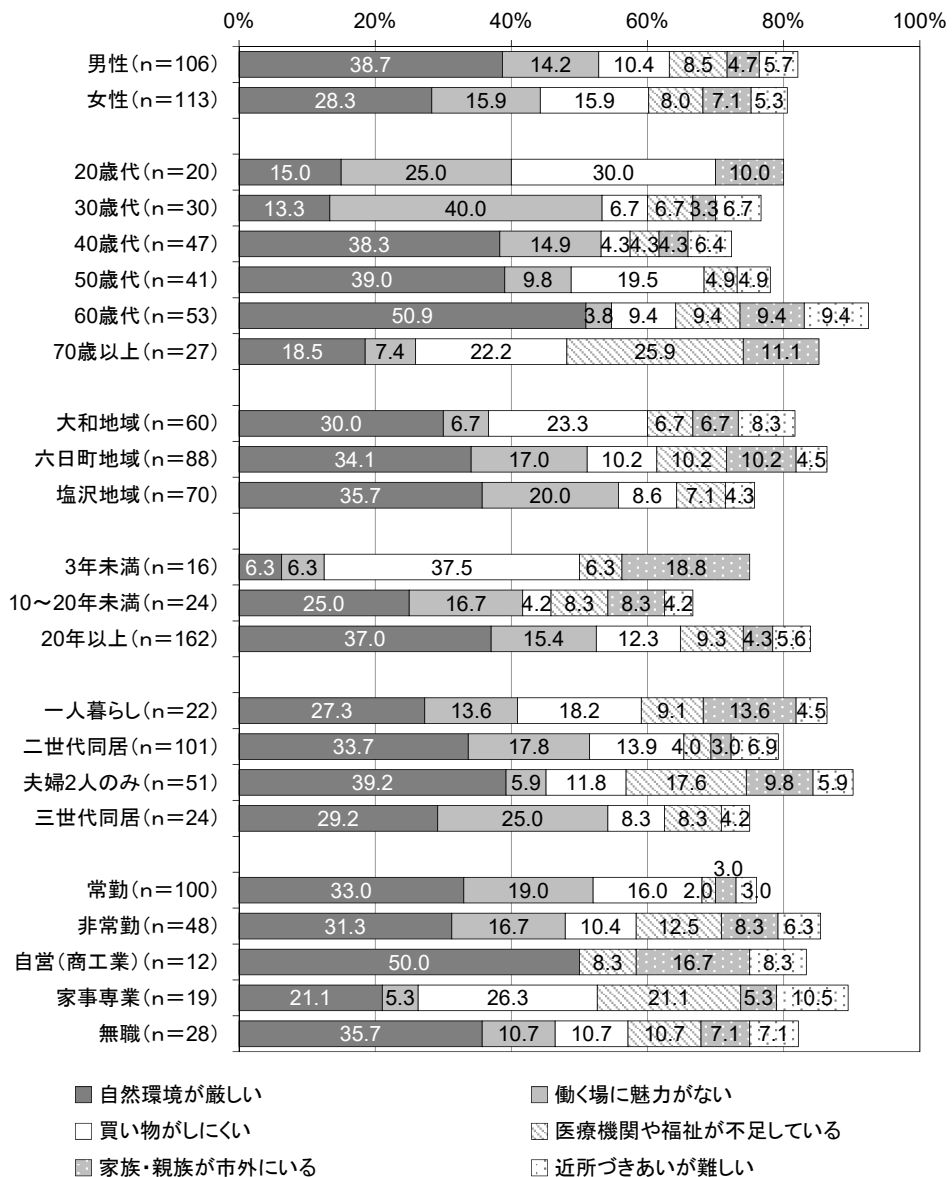
前回と比較すると、同様の傾向となっており、大きな変化は見られませんが、「自然環境が厳しい」（前回 39.9%）や「近所づきあいが難しい」（本調査 5.5%、前回 10.1%）は若干低くなっています。

属性別については、各属性のサンプル数が少ないため、参考値として表示し、分析は行いません。



※「家族・親族が市外にいる」は新規設定

「南魚沼市外に移りたい」理由（1つだけ選択）（経年比較）



※全体傾向における上位6項目のみ表示
 ※n=10未満の属性を除く

【参考】「南魚沼市外に移りたい」理由（属性別）